



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Show Rotary Cares・『ロータリーの心を』
1997～98年度・国際ロータリーテーマ／グレンW・キンロス会長

『ロータリーの原点』に立ち『新鮮な眼でクラブライフを』
1997～98年度・東京新南ロータリークラブテーマ／武下 朗会長

◎本日の例会

9月5日／第526回例会

□卓話 イニシエーションスピーチ「遊びのこと、仕事のこと」

当クラブ会員 富士ゼロックス(株) 常勤監査役 開発 英 基 君

◎先週報告

8月29日／第525回例会

□卓話「オーストラリアでの貴重な経験」

元派遣青少年交換学生 塩屋未来さん

□幹事報告 9月定例理事会を次週例会後開催いたします。

□職業奉仕委員会報告(伊部委員)「企業倫理に関する」アンケートのお願い

本日おくばりしたアンケートの件ですが、内容が企業を対象としていますので、個人経営の方はご自分の考え方を記入下さい。ご多用中恐縮ですがよろしくご協力の程お願い申し上げます。

□SAA委員会報告(吉岡SAA)

①9～10月の着席方法を、ロータリー入会年度別にさせていただきます。

②9月の月始めの例会の食事は、和食(松花堂弁当)に致します。和食について何かご意見がございましたら、SAAに申し付け下さい。

□出席報告 ●会員71名・出席49名・欠席22名(出席規定免除者1名)

ビジター(6名 敬称略・順不同)／塚田康盛(東京マリーン)、羽鳥 修(東京みなと)、品川正治(東京新橋) VAWBEL、小見山了一、島崎保彦(以上東京南)



塩屋未来さん

9月行事予定

9月は

新世代の
ための月間

です

2日(火) 火曜会

東京全日空ホテル 37F アストラル 17:30～19:15

千代田分区第1回会長会

レストラン「キャッスル」18:00～20:00

5日(金) 9月定例理事会

東京全日空ホテル 1F 孔雀の間 例会後 13:40～15:00

6日(土) 地区96年8月派遣学生帰国報告会及び懇談会

日本青年館 15:00～17:00／帰国報告会

17:30～19:00／懇談会、97年7月来日学生歓迎会

19日(金) 地区新世代会議開催打合せと関連委員会問題の討議

新高輪プリンスホテル 2F 松の間 13:30～14:30／全体会議

14:30～16:00／分區別会議

25日(木) 地区社会奉仕・環境保全委員長会議

京王プラザホテル 本館 43F 14:30～17:00

江戸情緒も満喫した「暑気払の会」報告

「きれいっ～」という女性の歓声。ライトアップされたベイブリッジを屋形船にゆられながらくぐり、東京湾のそよ風をうけながら、景観を一変させたお台場周辺や、まばゆいばかりの東京の夜景を、沖合から存分に楽しんだひとときでした。

親睦活動委員会が先月25日催した「暑気払の会」。11組のご夫妻を含め総勢44名が参加、浜松町の船宿「はしや」を出航しました。まず高須委員長からご参加のご夫人方を紹介、そしてアツといわせたのが、赤坂の綺麗どころ3人の披露。四分一会員のお骨折りとか。

武下会長の挨拶もこの際ヤボは言わないでと簡単に、そして佐藤会員の音頭で乾杯、早速赤坂のおねえさんの(奴さん)が舞われて一気に盛り上がる。宮武会員の小唄、佐藤会員の軍歌、石東会員夫人陽子さんの明治一代女と余興もつづく。お刺身、寿司、天ぷらとご馳走も次々と出て飲み物も飲み放題とあって売れ行きは上々。

船べりにはいつの間にか(江戸前のつくだに売り)の伝馬船も、身をのり出して買い求めるご夫人がた、近代的な夜景のなかになん隻かの屋形船も行きかい、江戸情緒も満喫した楽しい2時間でした。高須委員長、小杉副委員長ご苦労さまでした。(相澤 記)



出席者／相澤、青野、荒木、平井・恵子、伊部・千歳、入沢、石東・陽子、岩瀬・和子、河原、川鍋、小澁・久美子、小杉(眞)・式子、松原、宮川、宮本、宮武・洋子、二宮・房子、大村、斉藤、佐々木、佐藤・悌子、関、四分一、新保、高須、武下、立林・清美、渡邊、山下、横山、吉田・克枝、吉岡、事務局山中(以上44名 敬称略・順不同)

第2回クラブセミナー(その2)

8月22日/第524回例会

〈先週より続き〉

質問3. 馬場一廣会員

7月18日のクラブセミナーでのお話は、制度面でロータリーがどの様に変貌して行ったかということはよく分かりました。しかし理念の面でのR Iの考え方、指向する方向がどの様変わったかについては、時間の制約もあって、必ずしも十分なご説明を頂けなかったような感じがしております。そこで今日は、理念の面におけるR Iの考え方、方針等が、ロータリーの憲法とまで言われる1923年の決議34から、どのように乖離して行ったか、離れつつあるのかを具体的な事例をあげてご説明いただきたいと思います。

田辺ロータリー情報委員長

1974~75年度のR I理事会決定事項は「R Iが特定の事業や計画を主催し、すべてのRCに協力せしめることは、R Iの目的の範囲外のことであり」として、R I主導の事業やプログラムを戒めていた。

処が、それから4年後、1978~79年度、R I会長クレム・レヌフ会長の理事会は、74~75年度理事会決議事項に加えて、「但し、R Iがロータリーの綱領の推進に役立つプロジェクトは発表してもよい。」との文言を追加し、手続要覧の「国際レベルにおけるロータリーの共同事業」という項目に「R IのWCS」を記載した。そしてそれに基づいてR Iは、ロータリー創立75周年記念(1980年)事業として、3H (Health, Hunger, Humanity) プログラムを掲げ、その事業資金として2年間で1,200万ドルの募金を開始した。このプログラムは全世界のRCから一定金額の拠金を求めたものであったが、多くのロータリアンはこの募金に賛同せず、2年間の募金は目標の60%、728万ドルに止まり、このプログラムは失敗に終わった。

そこでR Iは1980年、このプログラムをR財団に押し込み、以来3Hは財団において継続実施している。この3H事業がR IのWCSプロジェクトの始まりと思われる。

R I主導のWCSを推進するには、決議23~34の存在が都合になったのであろう、1983年版手続要覧から、決議23~34の全文が突然削除されたのである。

このことは心あるロータリアンに大きな衝撃をあたえ、波紋を巻き起こした。各地から巻き起こった抗議、質問に対しR Iの釈明は二転三転したあと、R Iは1986年の規定審議会に削除した決議23~34に代えて、新声明を提案すると約した。そして1986年の規定審議会にR I理事会は新声明(86~203)を提案した

ものの、審議当日になって理事会は何の説明もなく自らの提案を取り下げたのである。そのため手続要覧には決議23~34が再掲載されたが、6年後の1992年の規定審議会にR Iは決議23~34の追加として新声明案(決議92~286)を提案し、これが可決されたため、現在は社会奉仕に関する1923年声明(決議23~34)と1992年声明(決議92~286)が併せて有効となっている。この両声明は整合性のない箇所が数箇所あるがもっとも重要なのは次の事項である。

1923年声明(決議23~34)

- ・クラブの自主独立を強調。
- ・クラブの団体奉仕もやってもいいが、個人奉仕の方をより推奨する。

1992年声明(決議92~286)

- ・R Iの方針に沿って他団体と協力することを要請。
- ・国際レベルの社会奉仕プロジェクトの強化を要請。
- ・R Iは、地区やクラブに対し、適宜社会奉仕プロジェクトを提案する責務有り。

社会奉仕に関する旧声明と新声明の問題で揉めている間に、1986年、R財団は国連WHOに協力するポリオ・プラスプログラムを打ち出し、この事業資金として4年間で総額1億2,000万ドルの募金活動を始めたことはご承知の通りである。

このことが日本のロータリアンの中に、I serve か、We serveか議論を巻き起こしたが、R財団主体となると議論が沈黙してしまった感がある。

1992年の新声明(決議92~286)が可決されたいまは、R Iも堂々とR I主導WCSを推進すべく、ライオンズクラブとの共同宣言、ユネスコとR Iとの同意事項に関する覚書(1997年~2001年までの共通関心事項における協力)調印を行った。

今後、WCSに対する推奨やプレッシャーが強まると思われるが、我々としてはロータリーの原点を守り、あくまでクラブの自主性に立って対処して行くべきだと考える。

※お詫びと訂正

前回発行会報(N o.513)第2回クラブセミナー記事前文に、小タイトルを下記_____の通り加筆させていただきます。

山川ロータリー情報副委員長による主旨説明

(会報委員会)



8月29日 21件 60,000円
97~98年度累計 432,432円
多額のご寄付を有難うございます。
(敬称略・順不同)

塩田康盛(東京マリーン)/5月30日には、お世話になりました。梶内滋男/塩屋さんスピーチを楽しみにしています。谷村義雄/75歳の誕生日お祝い有難うございました。渡部一元/暫く留守にいたしました。又宜しくお願い致します。伊部和夫、岩瀬秀郎、平井逸夫、新保國彦、宮武保義、荒木昭文、宮川弘信、佐藤定宏、小滋雅亮、佐々木忠行/「暑気払の会」屋形船での楽しいひと時ありがとうございました。親睦活動委員会の皆様ありがとうございました。高須康有、小杉眞史/先日の「暑気払の会」では大勢のご参加をいただき、ありがとうございました。大変楽しい親睦の会ができましたことに感謝致します。小杉修造/R財団委員会を開催しました。そのうちにお願ひに上がりますので宜しく!吉岡琢磨/渡部一元さんお帰りなさい。加藤昌明/メーキャップが続きました。村山公士/例会続けて休んでしまいました。小原 健/残暑お見舞い申し上げます。ニコニコご協力ありがとうございました。

◎次週予告

9月12日/第527回例会

□卓話予定 「ドームあれこれ」

(株)東京ドーム取締役社長
東京本郷ロータリークラブ会員

林 有 厚 氏

東京新南ロータリークラブ

会長: 武下 朗 副会長: 山下忠治 幹事: 渡部一元
〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004
例会日 ●毎週金曜日 12時30分
例会場 ●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

<会報委員>

新保 國彦、荒木 昭文、廣瀬 哲久、
青野 信次、宮川 弘信、開発 秀基、
田中 武、小杉 眞史、川鍋 二郎、
立林 英昭、吉田 用親、村山 公士
(編集担当順)